

鹿角市河川漁業協同組合主催の森づくり活動に参加しました！

令和8年9月25日（金）、鹿角市十和田大湯字田代平の大湯川源流付近において、鹿角市河川漁業協同組合主催の森づくり活動である植樹祭が開催され、当署からも署長をはじめ職員7名が参加し、地域の皆さんとともに植樹活動を行いました。

この活動は、鹿角市河川漁業協同組合が魚類の生息環境の保全や水資源の涵養につなげるため、上流域へ広葉樹を植樹して豊かな森林を育成することを目的として毎年実施されています。

当日は、大湯小学校の5年生をはじめ、漁業者や林業関係者など約60名が参加して、約50アールの植栽地にブナやミズナラなど約700本の苗木をあらかじめ準備された植穴へ苗木を入れ、根がしっかり張るよう丁寧に土をかぶせながら作業を進めました。

午後からは、中滝ふるさと学舎に会場を移して小学生を対象に森林教室を開催しました。森林には木材を生産するだけでなく、雨水を蓄え洪水を緩和する水源涵養や、土砂災害の防止、二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に貢献する機能など沢山の働きがあることについて、紙芝居を用いて紹介するとともに、木と触れ合うきっかけとして、測竿、ブルーメライスなどの機材を使った測樹体験を行ってもらいました。小学生たちは、午前中に植えた苗木が将来どのような役割を果たすのかを含め、森林の重要性に対する理解が深まったようです。

当署では、このような植樹祭や森林教室など地域の皆さんとの活動を通じて、森林づくりの大切さを伝えていく考えです。



植樹祭の集合写真



植付作業の様子



森林教室（森林の働き）



輪尺を使用した測樹